

令和6年度定時会員総会 議案

【第1号議案】

令和6年度
事業報告（報告事項）
損益計算書〈正味財産増減計算書〉、
貸借対照表、財産目録（承認事項）
監査報告書（報告事項）
自令和6年1月1日 至令和6年12月31日

【第2号議案】

令和7年度
事業計画、収支予算書（報告事項）
自令和7年1月1日 至令和7年12月31日

※注記1：本書は「会員（社員）総会参考書類」を兼ねています。

※注記2：「令和6年度定時会員総会招集通知」が裏表紙にあります。

※注記3

①会員総会出席者は原則として「議決権行使書と議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使してください。

②当日ご出席願えない場合、「事前の議決権行使」をお願いします。招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法で3月9日までに北海道倶楽部宛に送付して下さい。

令和7年3月10日
公益社団法人北海道倶楽部

令和 6 年度定時会員総会 議案

【第1号議案】(●報告事項及び●承認事項)

令和6年度 事業報告、 正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録 監査報告書

自令和6年1月1日 至令和6年12月31日

●報告事項

「令和6年度庶務事項報告（総会、理事会報告）」 . . . 1 ページ

「令和6年度事業報告」 10 ページ

「令和6年度 会員異動状況」 15 ページ

●承認事項

「損益計算書（正味財産増減計算書）」 16 ページ

「貸借対照表」 17 ページ

「財産目録」 18 ページ

「キャッシュフロー計算書」 19 ページ

「計算書類に対する注記，附属明細書」 20 ページ

●報告事項

「監査報告書」 21 ページ

【第2号議案】(●報告事項)

令和7年度 事業計画、収支予算書

自令和7年1月1日 至令和7年12月31日

●報告事項

「令和7年度事業計画書」 22 ページ

「令和7年度収支予算書」 25 ページ

令和6年度庶務事項報告（総会、理事会報告）

（諸会議報告の要旨である。省略した事項、別紙等は正規の議事録に記載されている。）

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

種 別	概 要
<p>1. 総会 令和5年度定時会員総会 3月12日</p>	<p>第1号議案「令和5年度 事業報告（報告事項）、損益計算書〈正味財産増減計算書〉・貸借対照表・財産目録（承認事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料の確認の後、資料の1～19頁に基づき説明した。 議長は鐵川照夫監事に監査報告を求めた。 監事は「令和5年度の事業・会計報告につき諸資料、帳票、帳簿などを詳細に調査した結果、適法かつ適正であること」、「理事の職務遂行についても適法かつ適正である」と監査報告をした。 この議案につき質問、意見を求めたが、全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>第2号議案「令和6年度 事業計画、収支予算書（報告事項）」承認の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料21～24頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>第3号議案「理事及び監事選任（選任決議事項）」の件 議長は事務局長に説明を求めた。 事務局長は配布資料25頁に基づき説明した。 議長はこの議案につき質問、意見を求めた。全員異議無しとの声により本議案は原案通り承認されたことを告げた。</p> <p>最後に、議長から全般にわたり発言を募った。（詳細は省略） 以上により本日の全議案は原案のとおり決議され、審議は終了したので、午後1時30分過ぎ、議長は令和5年度定時会員総会の終了を告げた。 （於 永田町ほっかいどうスクエア2階会議室）</p>
<p>2. 理事会（評議員会） 2月15日 ・書面による理事会を除き、各理事会では、出席の代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告が行われている。 ・書面による理事会を除き、事務所での参加者を含め、WEB会議システム（Microsoft Teams）を利用し行う。出席者の音声と映像が即時に他の</p>	<p>第1号議案 令和5年度事業報告及び決算等の承認の件（別冊「令和5年度定時会員総会 議案」参照） （1）事業報告書（2）事業報告書の附属書類（3）貸借対照表（4）損益計算書（正味財産増減計算書）（5）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類（6）財産目録（7）監査報告書</p> <p>第2号議案 内閣総理大臣宛「事業報告等に係る提出書」提出について決議する件</p> <p>第3号議案 令和5年度会員総会に係る件（定款第29条第1項第1号の事項） （別冊の「令和5年度定時会員総会 議案」、「総会招集通知」につき承認をお願いします。）</p> <p>第4号議案 役員辞任、委嘱の件</p> <p>第5号議案 会費未納会員の会員資格喪失者、会員入退会、会員数ほかの件 （1）会費未納（3年以上）会員の会員資格喪失者について（定款第11条第1項第1号による資格喪失者の報告）</p>

種 別	概 要
<p>出席者に伝わり適時的確な意見表明が互いにできる仕組みを確認後に議案の審議に入る。</p>	<p>(2) 会員の入会について (3) 会員の退会 (登録会員の抹消を含む)、会員推移</p> <p>第 6 号議案 会費規程の追加 第 7 号議案 印章等管理規則の改正 第 8 号議案 その他</p> <p>(1) 新年交礼会実施結果について 1月26日ホテルニューオータニにて、4年ぶりにコロナ前の立食形式で開催した。</p> <p>(2) 特別講演会の開催について 演題：「北広島市の近未来展望」 講師：北広島市長 上野 正三 氏 2024年2月9日 倶楽部2階 アイオス永田町会議室 参加者：約50人（会員外聴講者や倶楽部役員も多く参加） 司会：評議員会副議長・企画部会長 惣田 浩 北海道新聞東京支社長</p> <p>(3) 令和6年北方領土返還要求全国大会参加報告 2月7日、国立オリンピック記念青少年総合センター</p> <p>(4) 令和6年度寄附のお願いの件</p> <p>(5) 広報紙「北海道 "NOW"」(会報) 自治体紹介ページ 今後の掲載スケジュールについて</p> <p>(6) 4月からの事務局業務について</p> <p>(7) 理事会・評議員会・総会ほか予定 (北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>3月12日 (臨時書面理事会)</p>	<p>第 1 号議案 本日の総会で選任された理事の中から、会長1名、副会長若干名、理事長1名、副理事長若干名及び常務理事1名を定める件 (定款第21条第2項、第29条第1項第4号)</p> <p>任期はそれぞれ令和6年3月12日から令和7年度の定時会員総会(令和8年3月開催予定)の終結時までとする。但し、再任を妨げない。選定された者は、それぞれその就任を承諾した。</p>
<p>4月30日 (書面理事会)</p> <p>・以降各書面理事会の日付は事務所押印等のため事務所から発送した時点に記載した。 ・各書面理事会の議事録には全部の押印等が終了し事務所に返送された日時を記入した。</p>	<p>第 1 号議案 役員就任の件</p> <p>(1) 3月12日令和5年度定時会員総会で再任(重任)された理事と監事、及び就任した理事については、就任承諾書を提出いただき、登記手続きを申請した。</p> <p>(2) 評議員、相談役、顧問及び参与などの、次期役員は、前役員を充てることを原則とし、別紙のとおり理事長に推薦し委嘱していただく。</p> <p>第 2 号議案 会員異動の件 (新入会員審査ほか) 第 3 号議案 その他 (報告承認事項) の件</p> <p>(1) 公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバルからの顧問就任依頼は、引き続き川村隆会長に就任頂く。</p>

種 別	概 要
	<p>(2) 寄附金の状況（令和6年4月22日現在）</p> <p>1) R5年実績 79人、2,847,000円 R6年予算 2,847,000円</p> <p>2) 応募64人、2,503,000円入金者数54人、入金実績1,910,000円</p> <p>(3) キャンペーンの様況（令和6年4月22日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの様況 本年度頒布数・金額／同累計 109個・23,250円／45,481個・7,537,963円</p> <p>② 千島桜バッジの様況 本年度頒布数・金額／同累計 73個・18,250円／3,618個・726,920円</p> <p>③ 新幹線バッジの様況 本年度頒布数・金額／同累計 6個・1,500円／3,461個・584,108円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの様況 本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／482枚・388,600円</p> <p>(4) 今後の予定ほか 具体的対応については評議員会・部会で検討する。</p> <p>1) 講演会 川村会長の推薦により Rapidus 株式会社 代表取締役社長 小池 淳義氏に講演会を行って頂くこととしたい。ご承認をお願いします。 日時 2024年6月27日（木）13時半から14時半 場所 永田町ほっかいどうスクエア2階 アイオス会議室</p> <p>2) 交流の夕べ 8月6日（火）18時 銀座七丁目ライオン</p> <p>3) 交流イベント 10月10日（木）18時 明治記念館</p> <p>4) 広報紙「北海道"NOW"」（会報）自治体紹介ページの今後の掲載スケジュールについて</p> <p>5) 北方領土対応について</p> <p>6) 北方領土返還要求中央アピール行進 12月1日</p> <p>7) 6月20日理事会・評議員会合同開催対応</p> <p>(5) 理事会等予定</p>
<p>6月20日 理事会（評議員会）</p>	<p>第1号議案 役員就任の件</p> <p>(1) 4月30日書面理事会で報告した令和5年度定時会員総会で再任（重任）された理事と監事、及び就任した理事の登記が完了し、（履歴事項全部証明書（別紙1））、内閣府に届けた。</p> <p>(2) 別表のとおり、他の各役員が就任を承諾された。任期は、定款第26条に基づき、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時会員総会（令和8年3月開催予定）の終結の時までとする。今後、維持会員の登録会員が役員を委嘱されていて登録会員を交代する場合は、原則として前任者の役員任期の間、各役職と担当を後任の登録会員が引き継ぐものとする。</p> <p>(3) 評議員会議長と副議長は定款第24条第4項により互選する事とされているが、理事会から別表候補のとおり、評議員会議長と副議長を推薦</p>

種 別	概 要
	<p>し、評議員会に諮ることとする。</p> <p>(4) 定款第 39 条に定める部会の構成員及び部会長は、理事会から別表のとおり選任する事とする。</p> <p>(5) 就任承諾書が未提出の役員については、交替等全てを理事長に一任する。</p> <p>第 2 号議案 役員就任に伴う担当の件</p> <p>役員の担当は、下記の「図」(省略)によることとし、今後運用上変更が必要になった場合は適宜対応する。</p> <p>第 3 号議案 「倶楽部の今後に向けて活動方法の検討」の件</p> <p>過去既に議論されてきた会員減少、財政縮小などの影響に対応すべく倶楽部の活動活性化に関して別紙「倶楽部の今後に向けて活動方法の検討」により会員等に協力をお願いする件について理事会に基本的な承認をお願いする。</p> <p>第 4 号議案 交流の夕べ、交流イベント、講演会等対面型イベントの件</p> <p>(1) 参加者の事前募集と会費の事前徴収方法は今後も続けていく。</p> <p>(2) 講演会の無料参加は維持するが、諸般の情勢に鑑み他の 3 イベントについては一律に各 1 万 5 千円とし、ある個別イベントの収支が悪くとも他のイベントと総合すれば収支相償となるように対応を考えたい。</p> <p>(3) 講演会は 2 月に昨年度繰越の上野北広島市長に講演頂き、6 月 27 日に本年度の特別講演会として Rapidus の小池社長の講演を予定している。講演会は費用が多くかからず(講演料無償)で、事務局の負担も少ないので、来年度以降は魅力ある講師を招き、開催回数を増やすことを検討し、いずれは収益の上がるイベントにできる方向へ行ければと考えている。有償化の際には講師謝礼などの問題も検討が必要かと思われる。</p> <p>第 5 号議案 交流の夕べについて</p> <p>昨年同様立食形式で行う予定。夕張支援のため夕張メロン付で行う。</p> <p>開催日時 8 月 6 日 18 時～20 時 会場 銀座クラシックホール</p> <p>第 6 号議案 新入会員審査の件ほか(会員の入・退会、会員の推移)</p> <p>第 7 号議案 令和 6 年度会員名簿の件</p> <p>10 月発行を目指し、掲載内容の確認と発行の財源となる名簿広告の募集を開始する。物価上昇の影響で作成経費も上がり、今回は広告費を値上げした。(サイズにより 5000 円から 1 万円) 編集、版下作成は内製化しているので赤字になることはないと思われる。</p> <p>第 8 号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 山形北方領土倶楽部 榎本幸一郎様退任ご挨拶の手紙の件(別紙参照)。</p> <p>(2) 入会案内資料の送付について</p> <p>(3) 寄附金の状況(令和 6 年 6 月 17 日現在)</p> <p>① R5 年実績 79 人、2,847,000 円 R6 年予算 2,847,000 円</p> <p>② 応募 69 件、2,583,000 円、入金者数 67 人、入金実績 2,523,000 円</p> <p>③ 例年通り、会員外の寄附者は 1 年間賛助会員として、会報・各種</p>

種 別	概 要
	<p>案内を送る。イベント開催が行われる場合は高額寄附者へのイベントのご招待を行う。</p> <p>④ 森町 野村洋元議長より叙勲関連記事掲載のお礼として1万円が送られてきたため、ご本人の承諾を受けて寄附金として処理した。</p> <p>(4) キャンペーンの様況(令和6年6月17日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの様況 本年度頒布数・金額/同累計 360個・64,750円/ 45,732個・7,579,463円</p> <p>② 千島桜バッジの様況 本年度頒布数/同累計・金額 112個・26,750円/ 3,618個・726,920円</p> <p>③ 新幹線バッジの様況 本年度頒布数/同累計・金額 6個・1,500円/ 3,467個・585,608円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの様況 本年度頒布数/同累計・金額 0枚・0円/ 482枚・388,600円</p> <p>(5) 今後の事業予定ほか(以下の具体的対応については、今後検討する)</p> <p>① 北方領土 ビザなし交流 現下の状況では、「ビザなし交流」の再開は困難と思われる。</p> <p>② 交流イベントは 事業部会を7月中に開催し、事業協力をお願いする体制を進めていきたい。</p> <p>③ 北方領土返還要求中央アピール行進 12月1日開催予定。</p> <p>④ 情報紙「北海道 "NOW"」の毎月の発行・配布、「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道 "NOW" information」の掲載 北海道情報ラックに北海道情報を配布(毎月)</p> <p>⑤ 北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。「千島桜バッジ」の頒布を行う。北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。</p> <p>(6) 理事会等予定 (北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>8月30日 (書面理事会)</p>	<p>第1号議案 役員辞任、委嘱の件</p> <p>第2号議案 新入会員審査の件ほか(会員の入・退会、会員の推移)</p> <p>第3号議案 対面型公益事業(「交流の夕べ」)実施の件</p> <p>(1) 8月6日18時～20時 銀座ライオンクラシックホール 当日実参加者数59人(昨年61人)</p> <p>(2) コロナ以降初めて厚谷夕張市長が出席された。</p> <p>(3) 収支はほぼ昨年同様で260,409円の黒字になった。</p> <p>(4) 料理の残数が多かったため、参加人数の増加と料理のメニュー内容の検討をはかる必要があると考える。</p> <p>第4号議案 対面型公益事業(「交流イベント」「新年交礼会」)ほかの件</p> <p>(1) 10月 第58回交流イベントの開催について 会場を昨年より小規模にしたが、物価上昇の影響もあり、費用節減とは</p>

種 別	概 要
	<p>いかず昨年同様の見積もりとなった。以下の想定を基本に検討したい。</p> <p>① 日程：10月10日18時～20時</p> <p>② 会場：明治記念館2階「富士の間②」370㎡（昨年蓬莱の間463㎡） 立食形式</p> <p>③ 会費：15千円</p> <p>④ 想定収入：120人×15,000円＝1,800,000円</p> <p>⑤ 会合費等支出想定：1,790,000円（会場支払い95人分食事発注、 見積書より△15名、控室使用なし＝△156,200円） （その他費用：会場支払い費用の15％）＝2,060,000円</p> <p>⑥ 差引収支△260,000円（8/6交流の夕べでの剰余金見合い）</p> <p>⑦ 事前申し込み、振込支払い制</p> <p>⑧ 7月17日に事業部会を開き、イベントのお手伝い協力を要請した。</p> <p>(2) 1月新年交礼会</p> <p>① 立食形式で開催を検討する。収支相償を目標とする。</p> <p>② 日程予定 2025年1月24日（金）18時 ホテルニューオータニ</p> <p>第5号議案 100周年事業の件</p> <p>新渡戸稲造らにより1927年に前身の北海道倶楽部が創立され、1966年に社団法人北海道倶楽部創設を経て、現在の公益社団法人北海道倶楽部として2027年に100周年を迎える。その記念事業を行うにあたり、本年度中から総務部会を開き、その内容を検討していく予定</p> <p>第6号議案 その他（報告、承認事項）の件</p> <p>(1) 寄附金の状況（令和6年8月25日現在）</p> <p>① R5年実績 79人、2,847,000円 R6年予算 2,847,000円</p> <p>② 応募69人、2,586,000円 入金者数69人、入金実績2,586,000円</p> <p>(2) キャンペーンの状況（令和6年8月25日現在）</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 1,092個・172,410円／46,464個・7,687,123円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数・金額／同累計 648個・105,410円／4,266個・726,920円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数／同累計・金額 6個・1,500円／3,467個・585,608円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数／同累計・金額 0枚・0円／482枚・388,600円</p> <p>(3) 今後の予定ほか</p> <p>1) 北方領土ビザ無し交流ほか 以前として再開の見通しは立っていない。間瀬理事（元北対協理事長）と対応を検討することとしたい。</p> <p>2) 12月1日 北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」</p> <p>(4) 後援名義使用許可 ふるさと会連合会からの代々木フェアについての「後援名義使用承認願ひ」に許可を出した。</p>

種 別	概 要
	(5) 理事会等予定
10月17日 理事会(評議員会)	<p>第1号議案 交流イベントの件 「第58回交流イベント」は10月10日明治記念館2階「富士の間2」で立食形式により開催した。事業部会担当評議員に準備作業、搬出入、抽選品・土産品引渡しなど多岐にわたって協力いただいた。出席人数は昨年より多い約140名。収支は164,756円の赤字となった。案内返信ハガキをやめ、アトラクション費用を抑えるなどしたが、会場への支払が昨年より約20万増えたため、赤字解消はできなかった。</p> <p>第2号議案 新入会員審査、会員の状況の件</p> <p>第3号議案 令和7年度の事業計画、予算の提出の件 原則として令和6年の事業計画を基に次回理事会に原案を提出し決定し、12月末までに内閣府に提出する。100周年に向けた事業計画については総務部会で検討のうえ原案に載せる。</p> <p>第4号議案 その他(報告承認事項)の件</p> <p>(1) 倶楽部の公益事業(行事) 講演会の開催 2025年2月以降に北海道新聞社 渡辺玲央さんに北方領土とロシアについての講演をお願いする方向で進める。来年度からは倶楽部の活動活性化も考え、講演会の開催をこれまでの年1回から複数回の開催を考えている。</p> <p>(2) 令和6年度会員名簿が完成し、10月1日発行、3日発送した。広告収入は広告料の値上げもあり、広告数は減ったものの収入は前回より増えた。版下作成は従来から内製化している。</p> <p>(3) 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB版発行について 例年通り標記の小冊子WEB版を12月に発行。事務局内製化により、外注の費用は掛からない。</p> <p>(4) 寄附金の状況(令和6年10月15日現在) 応募69人、2,586,000円 入金者数69人、入金実績2,586,000円</p> <p>(5) キャンペーンの状況(令和6年10月15日現在)</p> <p>① ブラウンリボンバッジの状況 本年度頒布数・金額/同累計 1,169個・191,160円/ 46,541個・7,705,873円</p> <p>② 千島桜バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 668個・110,410円/ 4,286個・837,330円</p> <p>③ 新幹線バッジの状況 本年度頒布数/同累計・金額 11個・2,750円/ 3,472個・586,858円</p> <p>④ ちぎれ千島に雲がとぶCDの状況 本年度頒布数/同累計・金額 0枚・0円/ 482枚・388,600円</p> <p>(6) 北方領土返還要求中央アピール行進(12/1) 1市4町で構成する北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が主催する「北方領土返還要求中央アピール行進」予定。</p>

種 別	概 要
	<p>(7) 令和7年新年交礼会の件 ニューオータニで参加費15千円/人、日程1月24日(金)予定。</p> <p>(8) 理事会等予定 (北海道倶楽部事務所及びWEB会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>
<p>12月19日 理事会(評議員会)</p>	<p>第1号議案 令和7年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みの件(別紙参照)</p> <p>定款第50条の定めにより、毎事業年度開始前までに理事長が作成し、理事会の承認を得て翌事業年度開始前までに行政庁に提出し、会員総会に報告するとされている。以下の通りご承認下さい。(「第1号議案 別紙 令和7年度事業計画及び収支予算並びに資金調達設備投資の見込みの件」参照)</p> <p>(1) 事業計画書について 別紙(「別紙 令和7年度事業計画書」)の通り、令和7年度の事業計画を作成した。基本的に前年の事業計画書に準じ作成し、開始予定の100周年事業準備を加えた。</p> <p>(2) 収支予算書について 令和6年度の仮決算(「別紙 令和6年度仮決算」)を踏まえ、令和7年度事業計画を遂行するため別紙(「別紙 令和7年度収支予算書」)の通り、令和7年度収支予算を作成した。</p> <p>(3) 資金調達及び設備投資の見込み 別紙「資金調達及び設備投資の見込み」の通り。</p> <p>第2号議案 令和6年度事業報告等の作成、総会日程の方針について</p> <p>令和6年度の「事業報告」等は前年に準じて作成し、その後監査を受け、2月理事会で承認後直ちに「定時会員総会招集通知、議案」を発送し(総会の2週間前)、3月の定時会員総会で報告・承認を得ることとする。</p> <p>第3号議案 講演会の開催及びアピール行進参加について</p> <p>(1) 令和7年度の講演会の開催について 講演会については北海道新聞社 渡辺玲央氏にロシアと北方領土関連の講演をお願いする予定。時期については5月下旬以降の開催を検討中。イベントの開催時期も考え、複数回開催の場合は5月、11月が適切ではないかと考えている。</p> <p>(2) 「北方領土返還要求中央アピール行進」(12月1日)に参加 北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会の主催する行進に、川村会長、有末副理事長、間瀬理事と事務局員4名の計7名で参加した。(総参加者は元島民をはじめ全国から約500人)日比谷野外音楽堂から鍛冶橋まで約1.6キロをシュプレヒコールを行い行進した。</p> <p>第4号議案 100周年事業について</p> <p>令和7年度より準備を開始することで総務部会を開いた。以後、部会検討を重ねていく予定。</p> <p>第5号議案 令和7年度交流イベント会場について</p>

種 別	概 要
	<p>年 3 回のイベントの中で赤字になっている交流イベントの会場費について削減できないか、会場の変更も含め検討。</p> <p>第 6 号議案 新入会員審査の件、会員数について</p> <p>第 7 号議案 「北海道の市と町と村をご紹介」WEB 版発行について</p> <p>標記の小冊子 WEB 版を 12 月 1 日付で発行し、倶楽部の HP に掲載する。2024 年 1 年間に北海道 "NOW" に掲載した 19 市町村で、再度北海道と各市町村の校正を経て完成した。予算の関係で本年も WEB 版の発行となった。事務局内製化により、外注の費用は掛かっていない。</p> <p>第 8 号議案 その他報告事項</p> <p>(1) 寄附金の状況</p> <p>① 令和 6 年度予算 2 8 4 . 7 万円</p> <p>② 12 月 10 日現在実績 2 5 7 . 3 万円、70 人</p> <p>③ 令和 7 年度寄附金のお願い・募集発送は 2 月下旬から 3 月上旬開始の予定。</p> <p>④ 100 周年事業寄附金をどのような扱いにするか検討が必要。</p> <p>⑤ 税額控除の適用となる。</p> <p>(2) 会費の入金状況</p> <p>① 令和 6 年度予算 5 6 7 万円 (内訳 正会員 1 6 2 万円 維持会員 4 0 5 万円)</p> <p>② 12 月 10 日現在実績 5 7 9 万円 (内訳 正会員 1 7 7 万円 維持会員 4 0 2 万円)</p> <p>③ 令和 7 年度会費 (1 月～ 12 月分) の請求は 4 月の予定。</p> <p>(3) ブラウンリボンバッジの状況</p> <p>本年度 (12/10 現在) 1,189 個、累計 46,561 個</p> <p>(4) 千島桜バッジの状況</p> <p>本年度 (12/10 現在) 688 個、累計 4,306 個</p> <p>(5) 北海道新幹線バッジの状況</p> <p>本年度 (12/10 現在) 11 個、累計 3,472 個</p> <p>(6) ちぎれ千島に雲がとぶ (CD) の状況</p> <p>本年度 (12/10 現在) 0 枚 累計 482 枚</p> <p>(7) 令和 7 年新年交礼会開催予定 (立食形式)</p> <p>令和 7 年 1 月 2 4 日 (金) 1 8 時 ホテルニューオータニ 麗の間 会員以外の一般の参加者にも広く呼びかけ北海道のためのキャンペーン等の年初事業として開催予定。</p> <p>(8) 理事会等の予定</p> <p>(北海道倶楽部事務所及び WEB 会議システム「Microsoft Teams」に於いて)</p>

令和6年度事業報告

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

種 別	概 要
<p>1. キャンペーン推進のための事業 (1) 新年交礼会 1月26日</p>	<p>1月26日(金)18時 ホテルニューオータニ「麗の間」会費1万5千円 4年ぶりにコロナ前の立食形式にて、約80名の参加で、キャンペーン「北方領土返還」「地域活性化・ふるさと納税」「北海道新幹線早期実現」をテーマに新年交礼会を開催した。(次第、写真及び会報記事参照)</p>  <div data-bbox="1023 159 1485 831"> <p>公益社団法人北海道倶楽部 We Love Hokkaido 令和6年新年交礼会</p> <p>「ちぎれ千島に雲が飛ぶ(森繁久弥)」の後 1. 開会の辞 ~キャンペーンについて 北海道倶楽部会長 川村 隆</p> <p>2. 来賓挨拶 北海道 副知事 濱坂 真一 様 3. 来賓ほかのご紹介(敬称略)</p> <p>4. 自治体ご挨拶・広報 札幌市 東京事務所長 佐藤 美賀 様</p> <p>5. 乾杯(会長) 川村 隆 (副会長) 大久保 尚武(発声) (副理事長) 鈴木 秀一 本間 修 (相談役) 岡村 進 6. 懇談 18:30 積極的な交流(名刺交換など)をお願いします。 7. 中締め 20時 間瀬 雅晴(評議員会議長)</p> <p>3. ご紹介(敬称略) その場でお声を掛けて下さい。</p> <p>政党・国会議員(および事務所の代理の方) 参議院議員 鈴木 宗男 参議院議員 竹谷 とし子</p> <p>北海道 北海道 副知事 濱坂 真一 北海道 東京事務所長 上田 晃弘 札幌市 東京事務所長 佐藤 美賀</p> <p>ふるさと会 北海道ふるさと会連合会 会長 新家 観男 北海道ふるさと会連合会 副会長 三井 照夫 東京湾川会 今野 利春</p> <p>令和6年1月26日(金)18時~20時 会場 ホテルニューオータニ「麗の間」</p> <div data-bbox="1023 629 1485 831"> <p>We Love Hokkaido 地域活性化 ふるさと納税 北海道新幹線早期実現 北方領土返還 キャンペーン</p> <p>北海道早期実現 新幹線 プラウンリボンバッジ 千島桜シンボルバッジ ふるさと納税</p> <p>※ お得りに「ふるれん田舎館」(豆類)をお土産用に用意しております。是非お持ち帰り下さい。(数に限りがございますので、ご了承ください。)</p> </div> </div>
<p>(2) 令和6年北方領土返還要求全国大会 参加 2月7日</p>	<p>当倶楽部も一員となっている大会実行委員会の主催により、2月7日の北方領土の日に東京・渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。岸田首相を迎えて元島民代表や全国の返還要求運動団体代表者ら1000人が参加し、倶楽部からも間瀬評議員会議長ら6人が参加した。</p> 
<p>(3) 交流の夕べ 8月6日</p>	<p>北海道倶楽部主催の「交流の夕べ」が8月6日夜、東京・銀座で開かれた。川村隆会長の挨拶の後、上田晃弘北海道東京事務所長から祝辞をいただき、厚谷司夕張市長は、これまでの夕張支援に対する感謝を述べられた。この後、約70人の参加者らは食事を楽しみながら懇談した。(次第、写真及び会報記事参照)</p>  <div data-bbox="1054 1339 1469 1899"> <p>公益社団法人北海道倶楽部 第26回 交流の夕べ 令和6年 8月6日(火) 銀座クラシックホール</p> <p>次 第 (開始18時00分 開始前に森繁久弥さんの「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」を流します。)</p> <p>1. 会長挨拶 川村 隆(会長)</p> <p>2. 祝辞 上田 晃弘 様(北海道東京事務所長) 厚谷 司 様(夕張市長)</p> <p>3. 国会議員、自治体ほか ご紹介(名簿の印記載の通り 敬称略)</p> <p>4. 新入会会員ご紹介 (名簿の印記載の通り 敬称略)</p> <p>5. 乾杯(18:20) 大久保 尚武(理事長)</p> <p>6. 懇談 (名刺交換を積極的に行って頂きまうようお願いいたします。)</p> <p>7. アトラクション(18:45) 清野 百香 (ヴァイオリニスト)</p> <p>8. 抽選会(19:00) 鈴木秀一(副理事長)、千葉豊音(評議員会副議長 代理乙部正理)</p> <p>9. 中締め(~20:00) 上條 努(評議員会議長)</p> <p>夕張市に支援を!!</p> <div data-bbox="1054 1749 1469 1899"> <p>We Love Hokkaido 地域活性化 ふるさと納税 北海道新幹線早期実現 北方領土返還 キャンペーン</p> <p>北海道早期実現 新幹線 プラウンリボンバッジ 千島桜シンボルバッジ ふるさと納税</p> </div> </div>
<p>(4) 交流イベント 10月10日 (旧道産子の会)</p>	<p>北海道倶楽部が取り組む「北方領土返還運動推進」などキャンペーンの推進を目的とした、「第58回交流イベント」が10月10日夜、東京・港区の明治記念館で開かれた。会員、会員外を含め約150人が参加した。 冒頭、川村隆会長が2027年に倶楽部が創設100周年を迎えることを紹介</p>

種 別	概 要
	<p>した。国土交通省の柿崎恒美北海道局長、上田晃弘北海道東京事務所長のご祝辞の後、出席した国会議員や、道内自治体関係者らが次々に紹介された。</p> <p>乾杯後、北海道民謡人会による唄と三味線の演奏は参加者を魅了した。また、恒例の福引抽選会はイベントを盛り上げた。御協賛社は48社に上った。会場の一角にはかつてビザなし交流で北方領土を訪れた会員らが撮った、数多くの写真が展示された。(次第、写真及び会報記事参照)</p> <div data-bbox="949 159 1492 548" data-label="Complex-Block"> <p>令和6年10月1日 北海道民謡イベント 第58回交流イベント次第</p> <p>一、開会の辞 (倶楽部会長) 川村 隆</p> <p>二、国土交通省ご挨拶 柿崎 恒美 様 国土交通省北海道局長</p> <p>三、北海道ご挨拶 上田 晃弘 様 北海道東京事務所長</p> <p>四、政党、国会議員、北海道、市町村ご紹介 五、乾 杯 発声 理事長 大久保 尚武 他役員 同</p> <p>六、懇 親 18時30分</p> <p>七、福引抽選 (19時10分副理事長幹事) 北海道民謡人会演奏 (18時45分) 金谷博治様 榎真二様 榎元一様 金谷博由美様</p> <p>八、中締め 評議員会議長 上條 努 散会 (20時)</p> </div> 
<p>(5) 北方領土返還要求中央アピール行進参加 12月1日</p>	<p>根室管内5市町でつくる「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」(北隣協)の主催。1945年に当時の根室町長が領土返還を陳情したことになんだ「返還要求運動原点の日」の12月1日に毎年開催しており、今回で17回目となった。今年の実行には、根室管内出身者をはじめ、各都道府県の返還運動関係者ら約500人が参加した。参加者らは日比谷野外音楽堂から鍛冶橋まで約1.6kmをデモ行進した。北海道倶楽部からも川村隆会長、有末真哉副理事長、間瀬雅晴理事ら7人が参加した。</p> 
<p>2. キャンペーン (1) ふるさと納税・地域振興等キャンペーン</p>	<p>1) 北海道"NOW" (情報紙・会報) に自治体紹介 地域振興等キャンペーンに資するため、平成28年3月号から北海道と協議し1号あたり2自治体の紹介を掲載しているが、今年度は日高振興局、根室振興局、渡島総合振興局、檜山振興局内の合計19市町村を順次掲載した。</p> <p>2) 「北海道の市と町と村をご紹介 Vol. 6」WEB版発行 今年度の1年間に北海道"NOW"に掲載した日高振興局、根室振興局、渡島総合振興局、檜山振興局の合計19市町村を再録し、地域振興等キャンペーンに資するため、小冊子WEB版(78頁)として12月1日付で発行し、倶楽部のHPに掲載した。</p>  <p>3) 北海道"NOW" インフォメーションに掲載 地域振興等キャンペーンに資するため、北海道等が主催・共催・後援する事業を本年度は、下記の広報記事を掲載し広報した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道北広島市役所 ・北海道根室振興局

種 別	概 要
	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道総務部北方領土対策本部 ・夕張市 ・北海道東京事務所（「どさんこプラザ」、「どさんこ旅サロン」） ・北海道教育庁 <p>4) 夕張市振興へ協力</p> <p>8月の「交流の夕べ」で夕張振興を訴え、「夕張メロン」を参加者にお土産として提供し、夕張市の「ふるさと納税」のパンフレットを配布するなどの支援イベントを行った。</p>
<p>(2) 北方領土返還推進「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン</p>  	<p>1) ブラウンリボンバッジについて</p> <p>北方領土問題の早期解決実現のためには、政府の外交交渉と並行し、それを後押しする関係者の熱意と実行力が不可欠で、返還運動に関心を持つ方々の応援団を増やすためには、底辺を拡大し、その輪をさらに広げることが必要である。そのために、「日常会話に登場する返還運動」へと転換する必要がある、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動をキャンペーン事業として推進するものである。</p> <p>ブラウンリボンバッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年1月)</p> <p>配布バッジ数累計 46,569 個（無料分を含む）（うち本年度配布 1,197 個） 収入総額 7,712,873 円（発注バッジ総数 43,588 個、発注総額 4,256,157 円）</p> <p>2) 千島桜バッジについて 「シンボルの花」</p> <p>北方領土返還要求運動の新たな展開を図るため、返還要求運動の統一的なシンボルとして、誰もが親しみやすく身近に感じる「花」を選び、北方領土啓発資材等に「花」をモチーフにしたイラストを使用して、北方領土問題の一層の啓発を図るとともに世論の結集に務めることを目的に広く道内から公募された。倶楽部は道からの呼びかけにより 2013 年 9 月 5 日より千島桜バッジの頒布を開始した。</p> <p>千島桜バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始 2013 年 9 月)</p> <p>配布バッジ数累計 4,310 個（無料分を含む）（うち本年度配布 692 個） 収入総額 843,330 円（発注バッジ総数 4,000 個、発注総額 304,426 円）</p> <p>3) 「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」の CD 配布</p> <p>北方 4 島の思いを、故森繁久彌さんが作詞し歌った上記 CD を、北方領土返還運動に役立ててくださいという、次男の建さんのご厚意で有料配布している。(送料込み千円) 累計 482 枚、本年度 0 枚（無料分を含む）</p> <p>累計収入金額 388,600 円 本年度収入金額 0 円</p>
<p>(3) 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン</p>	<p>1) 北海道新幹線早期実現推進の意識を高めるための早期実現「新幹線」バッジを実費で頒布した。</p> <p>2) 趣旨：北海道新幹線をより早期に実現するためには、「日常会話に登場する北海道新幹線早期実現推進運動」をする必要がある、それを可能にするために、話題のきっかけとなる「きっかけグッズ」の頒布活動を事業として推進</p>

種 別	概 要
	<p>するものである。</p> <p>3) 早期実現「新幹線」バッジについて</p> <p>絵柄で北海道と新幹線を、文字で北海道と新幹線への想いを表現した。25mmサイズのピンバッジである。色は北海道新幹線のイメージ緑と、情熱・熱意を表す赤を配色した。北海道新幹線早期実現のため、話題の「きっかけ」グッズとなれば幸いである。交流事業、メディア事業などを活用し全国に配布した。バッジ配布数等は下記の通りである。(配布開始2010年8月)</p> <p>配布バッジ数累計 3,472個(無料分を含む)(うち本年度配布11個)</p> <p>累計収入総額 586,858円(発注バッジ総数6,000個、金額675,675円)</p> <p>(北海道新幹線(新青森-新函館北斗間)は、平成28年3月26日に開業。札幌延伸は平成24年6月工事実施計画が認可され、当初の2030年度末開業予定から大幅に延期となる見通し。)</p>
<p>3. キャンペーン推進のための調査研究事業 特別講演会</p>	<p>1) 「北広島市の近未来展望」</p> <p>北海道倶楽部主催の講演会は、2月9日、東京・千代田区の「アイオス永田町」で会員外を含め約50人の聴衆を集めて開かれ、北広島市の上野正三市長が上記演題にて講演した。「北海道ボールパークFビレッジ」について、2015年からの誘致運動の経緯などを語り、今後の街づくりを巡り、「北海道ボールパークFビレッジと連携、新たな価値を創造していきたい」と述べた。参加者は広く一般を対象とし、会報と倶楽部HPで告知をし、参加費は無料とした。</p>  <p>2) 「Rapidusが目指す最先端半導体量産への道程～この千載一遇の機会に賭ける～」</p> <p>北海道倶楽部主催の講演会(2回目)は、6月27日、東京・千代田区の「アイオス永田町」で会員外を含め約60人の聴衆を集めて開かれ、Rapidus株式会社の小池淳義代表取締役社長が上記演題にて講演した。北海道への経済効果と北海道バレーについて述べた。参加者は広く一般を対象とし、会報と倶楽部HPで告知をし、参加費は無料とした。</p> 
<p>4. キャンペーン推進のためのメディア事業</p> <p>(1) 北海道情報紙「北海道NOW」の配布</p> <p>(2) 「北海道の市と町と村をご紹介」</p>	<p>北海道情報紙「北海道NOW」の配布</p> <p>本年度もメディア事業は、北海道情報の北海道外への広報活動を志向した。第787号から第797号まで1000部印刷し発行(毎月1日、ただし2月1日号は休刊)</p> <p>会員以外への配布もおこなった。(北海道情報ラック)HPにも掲載している。WEB版としてHP上に掲載することにより、会員外も自由に無料でアクセスでき、様々な読者層にアピールすることができる。</p> <p>前掲2.(1)-2)の通りWEB版発行。</p>

令和6年度 会員異動状況

(令和6年12月末現在)

		令和5年度末	内 容			令和6年度末
			増	減	差引	
単位						
維持会員	社数 (社)	99	1	5	△ 4	95
	口数 (口)	147	1	11	△ 10	137
	登録会員数 (名)	195	40	52	△ 12	183
正会員数 (名) <small>(名誉会員1名を含む)</small>		117	7	10	△ 3	114
個人会員数 合計 (名)		312	47	62	△ 15	297

損益計算書（正味財産増減計算書）

令和6年度損益計算書(正味財産増減計算書)

令和6年度 1月1日～12月31日

・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用等は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。				公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人 総計(合計)	前年度決算 令和5年12 月31日	決算増減 (令和6年-令 和5年)
一般正味財産増減の部								
経常増減の部								
経常 収益 (収入)	(1)経常収益 [収入]							
	受取会費							
	(入会金)			17,500	17,500	35,000	35,000	0
	(正会員会費収入)			892,500	892,500	1,785,000	1,620,000	165,000
	(維持会員会費収入)			2,055,000	2,055,000	4,110,000	4,380,000	△270,000
	事業収入							
	(広告収入)			888,000	1,300,000	2,188,000	908,000	1,280,000
	(交流、キャンペーン等収入)			2,408,793	1,802,556	4,211,349	4,412,044	△200,695
	受取寄附金(寄附・協賛金)			2,576,000	0	2,576,000	2,847,000	△271,000
	受取利息			0	305	305	54	251
	雑収入			40	0	40	120	△80
経常収入計(収入高合計)			8,837,833	6,067,861	14,905,694	14,202,218	703,476	
経常 費用 (事業 費・ 管理 費)	(2)経常費用[事業費・管理費]			事業費	管理費			
	給料手当			2,442,616	1,628,411	4,071,027	6,113,936	△2,042,909
	諸謝金			15,000	0	15,000	0	15,000
	法定福利費			30,664	20,443	51,107	489,083	△437,976
	退職給付繰入額			0	0	0	75,000	△75,000
	外注費			3,378,632	773,500	4,152,132	3,078,176	1,073,956
	荷造運賃			38,266	0	38,266	41,795	△3,529
	会議費			59,400	28,600	88,000	22,000	66,000
	旅費交通費			346,692	71,132	417,824	230,210	187,614
	通信費			549,947	396,381	946,328	1,017,645	△71,317
	会合費			1,918,840	1,680,617	3,599,457	3,710,934	△111,477
	消耗品費			219,286	136,954	356,240	364,018	△7,778
	修繕費			0	0	0	0	0
	新聞図書費			137,740	0	137,740	135,087	2,653
賃借料			100,982	67,322	168,304	172,949	△4,645	
雑費			509,239	174,793	684,032	535,928	148,104	
経常費用計(事業費・管理費計)			9,747,304	4,978,153	14,725,457	15,986,761	△1,261,304	
当期経常増減額(事業損益金額)			-909,471	1,089,708	180,237	△1,784,543	1,964,780	
当期一般正味財産増減額(当期純損益金額)			-909,471	1,089,708	180,237	△1,784,543	1,964,780	
※一般正味財産期首残高				※	3,750,170	5,534,713	△1,784,543	
一般正味財産期末残高					3,930,407	3,750,170	180,237	
正味財産期末残高					3,930,407	3,750,170	180,237	

※令和5年度決算の期末残高

貸借対照表

貸借対照表

(令和6年12月31日)

(単位円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	3,185,956	4,192,590	△1,006,634
貯蔵品	33,273	72,338	△39,065
キャンペーン品	687,676	861,147	△173,471
未収入金	75,000	0	75,000
仮払金	0	0	0
流動資産合計	3,981,905	5,126,075	△1,144,170
2. 固定資産			
什器備品	3,000	3,000	0
		0	
固定資産合計	3,000	3,000	0
資産合計	3,984,905	5,129,075	△1,144,170
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	42,185	1,361,331	△1,319,146
仮受金	12,313	17,574	△5,261
流動負債合計	54,498	1,378,905	△1,324,407
2. 固定負債			
退職給与引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	54,498	1,378,905	△1,324,407
III 正味財産の部			
一般正味財産 (正味財産期末残高)	3,930,407	3,750,170	180,237
正味財産合計	3,930,407	3,750,170	180,237
負債および正味財産合計	3,984,905	5,129,075	△1,144,170

◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目（引当金等明細）が無いため、作成しない。

財産目録

財産目録 (令和6年12月31日)

(単位円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	当年度	前年度	増減
(流動資産)					
現金・預金		運転資金として	3,185,956	4,192,590	△1,006,634
現金	現金手元有高		0	0	0
預金	普通預金 みずほ銀行町村会館出張所1		470,005	683,979	△213,974
預金	普通預金 北洋銀行東京支店		1,873,880	2,442,766	△568,886
預金	普通預金 北海道銀行東京支店		446,860	447,374	△514
預金	定期預金 北洋銀行東京支店		200,000	200,000	0
預金	定期預金 北海道銀行東京支店		100,000	100,000	0
貯金	郵便振替預金		95,211	318,471	△223,260
貯蔵品計		在庫として	33,273	72,338	△39,065
切手	事務所保管		23,556	59,140	△35,584
はがき	事務所保管		2,457	3,528	△1,071
レターパック	事務所保管		4,260	9,670	△5,410
金券(クオカード)			3,000	0	3,000
キャンペーン品計		在庫として	687,676	861,147	△173,471
ブラウンリボンバッジ	事務所保管		94,038	181,374	△87,336
千島桜バッジ	事務所保管		213,133	297,633	△84,500
CD	事務所保管		86,360	86,360	0
新幹線バッジ	事務所保管		294,145	295,780	△1,635
未収入金			75,000	0	75,000
仮払金			0	0	0
流動資産合計			3,981,905	5,126,075	△1,144,170
(固定資産)					
什器備品計			3,000	3,000	0
絵画 西村計雄 「ハイデルベルヒ63」	事務所保管(会議室展示)		1,000	1,000	0
絵画 西村貴久子 「流水」	事務所保管(会議室展示)		1,000	1,000	0
絵画 岩船修三 「白鳥」	事務所保管(会議室展示)		1,000	1,000	0
電話加入権		備忘価額	0	0	0
固定資産合計			3,000	3,000	0
資産合計			3,984,905	5,129,075	△1,144,170
(流動負債)					
未払金			42,185	1,361,331	△1,319,146
仮受金計			12,313	17,574	△5,261
内 雇用保険			12,313	9,574	2,739
流動負債合計			54,498	1,378,905	△1,324,407
(固定負債)					
退職給付引当金			0	0	0
固定負債合計			0	0	0
負債合計			54,498	1,378,905	△1,324,407
正味財産合計			3,930,407	3,750,170	180,237
負債および正味財産合計			3,984,905	5,129,075	△1,144,170

◎ 附属明細書は、注記に記載した。若しくは明細項目(引当金等明細)が無い場合、作成しない。

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書(間接法) (令和6年12月31日) (単位円)

1月1日~12月31日

加算減算項目	計算項目	同左	加算減算
当期純損益金額 (当期正味財産増減額)	180,237		180,237
貯蔵品(増減)	△ 39,065		39,065
キャンペーン品(増減)	△ 173,471		173,471
未収入金(増減)	75,000		△ 75,000
仮払金 (増減)	0		0
固定資産 (増減)	0		0
未払金 (増減)	△ 1,319,146		△ 1,319,146
仮受金 (増減)	△ 5,261		△ 5,261
退職給与引当金(増減)	0		0
	キャッシュフロー		△ 1,006,634

科 目	当年度	前年度
現金・預金	3,185,956	4,192,590

増減	△ 1,006,634
----	-------------

計算書類に対する注記, 附属明細書

計算書類に対する注記、附属明細書

1 重要な会計方針ほか

(1) 公益事業会計と法人会計（管理費用）に区分し損益計算書（正味財産増減計算書）を作成した。

会費収入は、原則公益事業会計に配賦した。ただし、その50%を法人会計に配賦した。

(会費規程第6条適用) 公益社団法人北海道倶楽部会費規程 (会費の用途)

第6条 原則として、入会金及び年会費は公益目的事業に係る収益とするが、入会金及び年会費の総額の50%を限度に管理業務に必要な費用の額として管理業務に係る収益に充当する事が出来る。

(2) イベントの交流、キャンペーン等収入は当該イベント事業費支出の公益事業会計と法人会計の支出割合で配賦した。

(3) 寄附金は公益事業会計に配賦した。

(4) イベント会場に支払う飲食・会場費は60%を公益事業会計に配賦し、会場に持込使用する酒類、土産類は法人会計に計上した。

(5) 通信費の内、電話、FAX及びインターネット費用は使用割合により、公益事業会計に配賦した。他は個別に配賦した。

(6) 下記の通り、上記配賦基準により公益事業会計と法人会計に配賦した。

科目	総額	公益事業会計配賦額	法人会計配賦額	配賦基準	公益事業会計配賦割合
入会金	35,000	17,500	17,500	公益収益割合	50%
正会員会費収入	1,785,000	892,500	892,500	公益収益割合	50%
維持会員会費収入	4,110,000	2,055,000	2,055,000	公益収益割合	50%
広告収入	2,188,000	888,000	0		
北海道NOW 広告	888,000	888,000	0	個別配賦	100%
会員名簿広告	1,300,000	0	1,300,000	個別配賦	0%
交流、キャンペーン等収入	4,211,349	2,408,793	1,802,556		
交流、キャンペーン等収入 内 新年交礼会会費等収入	4,067,500	2,264,944	1,802,556	事業費支出割合	55.7%
交流、キャンペーン等収入 内 ハッジ等収入	143,849	143,849	0	個別配賦	100%
寄附・協賛金	2,576,000	2,576,000	0	個別配賦	100%
受取利息	305	0	305	個別配賦	0%
雑収入	40	40	0	個別配賦	100%
合計	14,905,694	8,837,833	6,067,861		
給料手当	4,071,027	2,442,616	1,628,411	従事割合	60%
諸謝金	15,000	15,000	0	従事割合	100%
法定福利費	51,107	30,664	20,443	従事割合	60%
外注費	4,152,132	3,378,632	773,500		
外注費 広報紙等メディア関連分	2,671,532	2,671,532	0	個別配賦	100%
外注費 事務局業務委託	1,078,500	647,100	431,400	個別配賦	60%
外注費 イベント関連	60,000	60,000	0	個別配賦	100%
外注費 総会議案印刷等	342,100	0	342,100	個別配賦	0%
荷造運賃	38,266	38,266	0		
荷造運賃 資料送付等運搬	0	0	0	個別配賦	0%
荷造運賃 イベント土産等運搬	38,266	38,266	0	個別配賦	100%
会議費	88,000	59,400	28,600		
会議費 講演会会議室賃料	59,400	59,400	0	個別配賦	100%
会議費 総会議室賃料	28,600	0	28,600	個別配賦	0%
旅費交通費	417,824	346,692	71,132		
旅費交通費 公益事業分	241,180	241,180	0	個別配賦	100%
旅費交通費 法人会計分	790	0	790	個別配賦	0%
旅費交通費 公益・法人会計振分対応分	175,854	105,512	70,342	個別配賦	60%
通信費	946,328	549,947	396,381		
通信費 公益事業分	416,854	416,854	0	個別配賦	100%
通信費 理事会等法人会計対応分	307,653	0	307,653	個別配賦	0%
通信費 電話、インターネット、公益・法人会計振分対応分	221,821	133,093	88,728	使用割合	60%
通信費 郵便 公益・法人会計振分50:50対応分	0	0	0	使用割合	50%
会合費	3,599,457	1,918,840	1,680,617		
会合費 法人会計対応分(手土産、酒類ほか)	1,680,617	0	1,680,617	個別配賦	0%
会合費 会場支払分等	1,918,840	1,918,840	0	対応の割合	60%
消耗品費	356,240	219,286	136,954		
消耗品費 公益事業分	13,854	13,854	0	個別配賦	100%
消耗品費 理事会等法人会計対応分	0	0	0	個別配賦	0%
消耗品費 公益・法人会計振分対応分	342,386	205,432	136,954	使用割合	60%
新聞図書費	137,740	137,740	0	個別配賦	100%
賃借料(事務所使用料)	168,304	100,982	67,322	使用割合	60%
雑費	684,032	509,239	174,793		
雑費 公益事業分	414,541	414,541	0	個別配賦	100%
雑費 法人会計対応分	111,661	0	111,661	個別配賦	0%
雑費 公益・法人会計振分対応分	157,830	94,698	63,132	使用割合	60%
合計	14,725,457	9,747,304	4,978,153		

(7) 資金の範囲は原則流動資産と流動負債とする。なお、前期末および当期末残高は、下記2.に記載するとおりである。

2 流動資産・流動負債と差額

科目	当期末残高	前期末残高	期中増減
現金・預金	3,185,956	4,192,590	△1,006,634
その他流動資産	795,949	933,485	△137,536
流動資産合計	3,981,905	5,126,075	△1,144,170
その他流動負債	54,498	1,378,905	△1,324,407
流動負債合計	54,498	1,378,905	△1,324,407
差額	3,927,407	3,747,170	180,237
参考(固定資産・固定負債)			
固定資産	3,000	3,000	0
固定負債	0	0	0
差額	3,000	3,000	0
正味財産合計	3,930,407	3,750,170	180,237

令和7年2月20日

公益社団法人北海道倶楽部

代表理事 理事長 大久保 尚武殿

監査報告書

法令及び定款第23条に基づき、監事は理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

令和6年度の事業、会計報告につき、諸資料、帳票、帳簿を詳細に調査いたしましたところ適法かつ適正であることを認めます。

理事の職務の執行は適法かつ適正に行われており、職務の執行において不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

公益社団法人北海道倶楽部

監事 澤野 正明 ⑩

監事 鐵川 照夫 ⑩

令和6年度事業、会計報告につき、以上のとおり報告致します。

令和7年3月10日

公益社団法人 北海道倶楽部

代表理事 理事長 大久保 尚武⑩

令和7年度事業計画書

令和7年1月1日から令和7年12月31日まで

種 別	概 要
令和7年度事業計画 1. 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・公益事業の推進にあたって、ここ数年の新型コロナの影響を考慮し、今後の社会状況や公益事業へ対応する新しいスタイルも検討する。 ・倶楽部の本年度事業の実施にあたっては、令和6年6月理事会第3号議案を踏まえ、事業を行うについて、会報などで会員等に協力をお願いする。この場合会員等から申し出のあった事業の内容（計画、推進方法、事業収支、予測される効果等）について、理事会の承認と支援のもと申し出をした会員等が主体的に事業を実施する。理事会はその事業について定款との適合性、事業収支の妥当性（収支相償など）等について総合的に検討のうえ判断する。
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年からはまった事務局の新体制の作業が順調に行われるように注力する。 ・新型コロナウイルスの影響により減少した会費収入や寄附金の収入増を目指し、公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。 ・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。 ・当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。 ・理事会のリモート会議と対面での会議のハイブリッドな対応につとめ、評議員会、部会の活性化とともに基本方針に沿い会員参加型事業推進の定着に務める。 ・事務局業務はリモートワークと事務所での作業とのバランスを注視する。 ・事務局の体制整備のため、人材の確保、育成をはかる。
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などとのタイアップによる公益事業活動の充実に務める。 ・昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。 ・「北海道NOWのインフォメーション」頁などを活用し「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。 ・令和9年（2027）に倶楽部創設100周年を迎えるため、これを記念した創設100周年記念事業の準備を令和7年度より始める。記念事業は会報等で広く意見を求めた案や各部会提案などを部会で選定し、創設100周年事業に相応しい内容や進め方を検討し、理事会の承認を受け実施する。 ・下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。
広報活動	<p>（1）北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道NOW」（本紙年11回）を発行する。 ・引き続き、道内各自治体の紹介ページ（ふるさと納税なども紹介）を継続するとともに、WEB版の発行の為の業務を続ける。 ・北海道のため「インフォメーション」の頁などで北海道等（行政や各種団体）の広報を行う。（「インフォメーション」の頁の新しい活用方法を検討する。） ・「北海道NOW」の会員配布、北海道情報ラックでの配布を行う。 ・HPの活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・継続して「北海道の市と町と村」の本年度版の刊行（WEB）を目指す。
地域活性化事業支援	<p>（2）北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会（北海道と根室地域1市4町で

種 別	概 要
	構成)、「公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会」など、北海道等から依頼される地域視察、地域振興、イベント等に協力する。
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CDの頒布を行う。 ・北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。 ・内閣府（含む倶楽部）などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」（2月7日、北方領土の日）に参加する。 ・根室市等が主催し全国70団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」（12月1日、銀座行進）に参加する。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」（年11回）配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動を行う。
ふるさと納税	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄附の推進キャンペーン活動を行う。
新幹線早期実現	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。 ・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。
北海道情報紙特別講演会の開催外部イベント等への参加	<p>(6) 上記各号の実施・推進にあたっては、下記的手法・方策等を総合的に適用し推進する。（一部重複・再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道情報紙「北海道 NOW」（本紙年11回）を発行する。 ・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。 ・倶楽部の事業に関連したテーマで特別講演会を開催する。 ・ほっかいどう応援団会議に参加し協力する。
4. イベント開催による公益事業等の推進	<p>(1) キャンペーンなどの公益事業の推進を倶楽部主催のイベント開催の場を使い推進する。</p> <p>(2) 新年交礼会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月に開催の「新年交礼会」は倶楽部の公益事業の年度初めのスタートとする。 <p>(3) 交流の夕べ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月に開催する「交流の夕べ」は倶楽部の夏を乗り切る事業として開催する。 <p>(4) 交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道産子の会として倶楽部が古くから最大のイベントとしてきたもので、参加者が協力して、倶楽部の事業を共有化する最大のイベントとして本年度も実施する。

種 別	概 要	予定時期
別表 公益事業計画 時期別一覧表 ・ イベント・講演会等は HP などでは会員外、一般へ参加案内しません。 ・ 部会対応 事業内容の詳細は担当の部会で今後検討し実施します。 ・ 状況の変化で理事会で今後別途決議した場合は変更します。	新年交礼会 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーン集会の年初スタート交流事業。	1月24日
	「北方領土返還要求全国大会」(北方領土の日) 「北方領土返還要求中央アピール行進」	(例年開催時期) 2月7日 12月1日
	交流の夕べ キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業。	(例年開催時期) 8月4日
	交流イベント「We Love Hokkaido」(旧道産子の会) キャンペーン、公益事業の広報。	(例年開催時期) 10月予定
	講演会、シンポジウムの開催 当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。会員間の交流にも役立てるが、当然一般の方も参加できる。原則無料とする。(大規模開催で諸経費が大幅にかかる場合は有料とする場合あり。 講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、HPなどで一般参加を呼びかける。)	未定(講師、会場等のスケジュールによる。年1、2回を予定)
	キャンペーンバッジ頒布 ・ 北方領土返還要求運動キャンペーン「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。	随時
	情報紙「北海道 "NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道 "NOW"」(本紙年11回)を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、発行体制を整備。一般配布(有料 月額80円)有り。 「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道 "NOW" information」を引き続き本年も掲載する。	毎月
	WEB版「北海道の市と町と村をご紹介」の発行 情報紙「北海道 "NOW"」に連載している1年分の市町村情報をまとめ、小冊子形式のWEB版にして発行する。 HPで一般の無料閲覧が可能。	12月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに無料配布する。	会報発行月
	ホームページでの広報 倶楽部、公益事業の広報のため、内容の充実・更新に務める。	毎月
その他 ・ 倶楽部内交流の同好会の活動に協力。(独立運営・独立会計、北星会(ゴルフ))	随時	

令和7年度収支予算書

<ul style="list-style-type: none"> ・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条) ・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・通信費の内、電話及びインターネット費用等は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。 ・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。 ・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。 		[K] 公益事業会計	[H] 法人会計	[T] 公益・法人総計(合計)
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益 (収入)	(1) 経常収益[収入]			
	[収入]			
	入会金	17,500	17,500	35,000
	正会員会費収入	885,000	885,000	1,770,000
	維持会員会費収入	2,010,000	2,010,000	4,020,000
	広告収入	888,000	0	888,000
	交流、キャンペーン等収入	2,719,983	1,785,624	4,505,607
	寄付・協賛金	2,576,000	0	2,576,000
	受取利息	0	269	269
	雑収入	40	0	40
	収入高合計	9,096,523	4,698,393	13,794,916
経常費用 (事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	事業費	管理費	
	給料手当	2,302,278	1,534,853	3,837,131
	諸謝金	15,000	0	15,000
	法定福利費	30,664	20,443	51,107
	退職給付繰入額	0	0	0
	外注費	3,374,882	428,900	3,803,782
	荷造運賃	38,966	0	38,966
	会議費	59,400	28,600	88,000
	旅費交通費	273,956	23,188	297,144
	通信費	532,050	286,462	818,512
	会合費	1,924,849	1,474,608	3,399,457
	消耗品費	285,286	180,954	466,240
	修繕費	0	0	0
	新聞図書費	78,940	0	78,940
	賃借料	100,982	67,322	168,304
雑費	509,239	173,363	682,602	
	事業費・管理費計	9,526,492	4,218,693	13,745,185
当期経常増減額(事業損益金額)		-429,969	479,700	49,731
当期一般正味財産増減額(当期純損益金)		-429,969	479,700	49,731
※一般正味財産期首残高			※	3,957,478
一般正味財産期末残高				4,007,209
正味財産期末残高				4,007,209

※令和6年度仮決算の期末残高

公益社団法人北海道倶楽部 令和6年度定時会員総会招集通知

正会員、維持会員 各位

公益社団法人北海道倶楽部
代表理事 理事長 大久保 尚武
公印省略令和6年度定時会員総会を下記の通り行いますので、お忙しいところ恐縮ですがご参加下さい。
記**開催日時：**

令和7年3月10日12時30分より（約1時間の予定。12時10分開場。昼食の用意はありません。）

開催場所：永田町ほっかいどうスクエア2階会議室（北海道倶楽部事務所の2階、貸会議室なので開場前に入れません。）
千代田区永田町2-17-17、03-3581-4021（北海道倶楽部の電話番号）**議事に付すべき事項：**

別紙「令和6年度定時会員総会 議案」の通り。

議決権行使会員：会員総会の議決権を持つ会員は、「正会員」及び「維持会員」で、各1個の議決権を持っています。
（維持会員は、維持会員の議決権行使書を持参した者が議決権を行使することが出来ます。）**議決権行使方法について：**

議決権は、議決権を持つ「正会員」及び「維持会員」が下記の方法により行使して下さい。

1. 「会員総会出席による議決権行使」
2. 「委任による議決権行使」（無記入の場合は議長に委任したものとさせていただきます。）
3. 「事前の議決権行使」

いずれも、招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（3月9日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

会員総会の招集通知は北海道倶楽部に登録された会員（社員）の住所地に送付しています。招集通知に同封した、【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）の用紙（右欄参照）を使って倶楽部宛に送付されたご連絡は会員の真正な意思表示とさせていただきます。
【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】
（はがき サンプル）**1. 会員総会出席による議決権行使：**

会員総会出席者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

2. 委任による議決権行使：（定款第18条第2項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】に印刷された【委任による議決権行使】欄に記入の上、北海道倶楽部宛に送付する。（無記入の場合は議長に委任とさせていただきます。）

受任者は原則として「議決権行使書」と「議案（本書）」を持参の上、会員総会に出席し議決権を行使する。

3. 事前の議決権行使：（定款第18条第1項）

招集通知に同封した【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】（はがき）に印刷された【事前議決権行使】欄に記入の上、「郵送」、「FAX」、又は「スキャンしたものをメールに添付」の方法でなるべくお早めに（3月9日まで）北海道倶楽部宛に送付して下さい。

以上

公益社団法人北海道倶楽部（TEL:03-3581-4021）

郵送先：〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-17

FAX先：03-3581-4022

mail：hkhd-clb@soleil.ocn.ne.jp

なるべくFAXかmailでのご連絡をお願いします。

【北海道倶楽部定時会員総会の議決権行使について】下記□にチェックを入れ至急送ってください。
無記入での返信は議長に委任とさせていただきます。 出席 →（議決権行使書と議案をご持参ください。） 欠席（1. 委任もしくは2. 事前議決権行使）↓
【1. 委任による議決権行使】（記入がない場合は議長とします）
 議長に委任する。
 議決権行使書持参者に委任する。

（委任しないで欠席される方）

【2. 事前議決権行使】（“否”の場合のみ下記□内にXをご記入ください。）
第1号議案—●承認事項

-
- 損益計算書（正味財産増減計算書）
-
-
- 貸借対照表
-
-
- 財産目録
-
-
- キャッシュフロー計算書
-
-
- 計算書類に対する注記

令和7年3月10日（正会員・維持会員のID、お名前）
（ID-1234 正会員/維持会員）

至急送付ください。3月9日必着でお願いいたします。この葉書を「郵送」、「FAX」又は「スキャンしメールに添付」してください。

Mail：hkhd-clb@soleil.ocn.ne.jp Fax:03-3581-4022